

第一回 TAPIC Academic Festival プログラム(1日目:万座の間)

司会進行: 沖縄リハビリテーションセンター病院
管理部 松本幸治

13:30 開会式

開会の挨拶: タピック代表 宮里好一

13:35 各施設の取り組み紹介

宮里病院: 照屋弘子(看護部長) 名護市スポーツリハビリテーションセンター” SpoRC”: 玉城哲雄(課長)
介護老人保健施設亀の里: 佐久川尚美(ケア部主任) ペアール沖縄・タピック: 仲大底仁(主任)
地域ケアセンター: 山城忍(マネージャー) 沖縄リハビリテーションセンター病院: 仲西孝之(リハ担当部長)
ユインチホテル南城: 宮城篤志(マネージャー) やはら万国クリニック: 宮里諭明(主任)

14:15 ~休憩(5分)~

14:20 セッション1 座長: 宮里病院 外来課長 根保徳幸(看護師)

1. 半固形化栄養剤導入前後の経過 ~嘔吐・下痢を繰返す4症例の変化~
介護老人保健施設 亀の里ケア部 看護師 又吉大
2. 認知症治療病棟における摂食・嚥下障害と栄養管理へのアプローチ
~栄養ケアがもたらす生活の質への影響~ 宮里病院 北2病棟 作業療法士 金城愛
3. 摂食嚥下機能からみた嚥下体操の有効性
沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅらうみ 介護福祉士 我喜屋香亜子
4. 経管(胃ろう) 栄養から経口摂取への取り組み ~経口摂取に伴いQOLの拡大が見られた症例~
宮里病院 西病棟 看護師 岸本弘子
5. 経管栄養投与方法: 栄養が先か? 白湯が先か? ~誤嚥性肺炎発症数の変化~
沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅらうみ 看護師 山城順子

15:05 ~休憩(10分)~

15:15 セッション2 座長: 沖縄リハビリテーションセンター病院 ホールマネージャー 久田友昭(PT)

1. ヘルシーダイエットモニターの取り組みについて~クリニックとフィットネスの融合~
スポーク・フィットネスセンター 健康運動指導士 當銘亜由美
2. 当病棟における口腔ケアの定着に向けて
沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅらうみ 言語聴覚士 島袋祥子
3. 当院における誤嚥性肺炎の実態調査
沖縄リハビリテーションセンター病院 7階メディカルホールていーだ 理学療法士 伊礼祥子
4. 当院におけるがん患者の傾向と今後の課題
沖縄リハビリテーションセンター病院 5階メディカルホールはいさい 作業療法士 古川宗広
5. 当院における装具作成状況および作成後のフォローについて
沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅらうみ 理学療法士 嘉味田勝太

16:00 ~休憩(10分)~

16:10 セッション3 座長: 宮里病院 北3病棟課長 下地正夫(看護師)

1. アパシーの改善がみられた軽度認知症高齢者の一事例
宮里病院 認知症デイケア 作業療法士 與那さやか
2. 地域在住の一般高齢者における認知機能、抑うつ症状と生活の特性に関する予備的研究
宮里病院 リハビリテーション部 作業療法士 小林彰
3. クリニックでの認知症プログラム効果について~スポーク・クリニックにおける取り組み~
スポーク・クリニック 作業療法士 新垣太樹
4. 意欲低下等のBPSDが著名な中等度認知症者への適切なアクティビティとは何か
宮里病院 認知症デイケア 作業療法士 具志堅和
5. 回復期リハ病棟における認知症予防と回想法グループでの取り組み
~多職種で展開する小集団アプローチの試み~
沖縄リハビリテーションセンター病院 7階メディカルホールていーだ 作業療法士 児玉悦津子

16:55 ~休憩(10分)~

第一回 TAPIC Academic Festival プログラム(1日目：万座の間)

- 17:05 セッション4 座長:名護市スポーツリハビリテーションセンター クリニック主任 宮城健次(PT)
1. 運動継続による自然減退の防止効果～運動継続者” 体力測定、アンケート” の結果より～
ペアーレ沖縄・タピック 健康運動指導士 渡口彦春
 2. 転倒防止へのチャレンジ ～転倒対策ミーティングにてリスク感性を向上させる試み～
沖縄リハビリテーションセンター病院 ゆいんちホール 看護師 安慶名誠
 3. 沖縄百歳堂デイケアセンターにおける水中運動療法の取り組み～現状報告と今後の課題について～
地域ケアセンター部門 百歳堂デイケアセンター 理学療法士 知名真希子
 4. 国頭村委託事業「転倒骨折予防教室」の取り組みについて
～スポーク・フィットネスセンターにおける取り組み～
スポーク・フィットネスセンター 健康運動指導士 比嘉邦彦
 5. 転倒リスク度別に見た転倒対策項目数と転倒回数～2つの転倒リスクアセスメントシートでの検討～
沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅらうみ 理学療法士 村田麻衣子

第一回 TAPIC Academic Festival プログラム(1日目:守礼の間A)

- 14:20 セッション5 座長:沖縄リハビリテーションセンター病院 ホールマネージャー 高良清仁 (看護師)
1. 退院時の見送り～ゆいんちホールおもてなしへの取り組み～
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 言語聴覚士 平良春奈
 2. 症状の安定をめざして～看護からのアプローチはないか個別的関わりを重点において効果を考える～
宮里病院 北3病棟 看護師 与古田律
 3. 介護記録の検討 ～他職種間の情報共有化を図るために～
宮里病院 看護部 西病棟 介護支援専門員 野口三郎
 4. 退院後訪問から振り返る退院指導の在り方
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 看護師 普久原睦子

15:05 ～休憩 (10分)～

- 15:15 セッション6 座長:やはら万国クリニック 主任 古堅宗英(看護師)
1. 統合失調症患者への認知機能改善及び社会生活能力向上を目的とした作業療法の効果
宮里病院 精神科作業療法室 作業療法士 古賀雅子
 2. 脳卒中患者の自己効力感が病院環境内の行動範囲に与える影響
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 理学療法士 玉城美香
 3. 全介助者の在宅復帰後の生きがいづくり～本人の二ードを中心に考える～
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 作業療法士 高良圭
 4. 入浴チェック表の使用状況について ～チェック表見直しからえたもの～
沖縄リハビリテーションセンター病院 5階メディカルホールはいさい 看護師 神村盛和
 5. アルコールリハビリプログラム(ARP)の現状と成果について～依存症患者さんへの関わりを見直す～
宮里病院 東病棟 看護師 高橋徳世

16:00 ～休憩 (10分)～

- 16:10 セッション7 座長:宮里病院 老人リハ課課長 屋嘉宗浩 (PT)
1. メディカルホール2年半後の現状～平成22・23年度実績と全国調査との比較～
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 作業療法士 和宇慶亮士
 2. 回復期リハビリテーション病棟における在宅復帰要因の検討
宮里病院 老人リハ課 作業療法士 柴田容江
 3. 回復期リハビリテーション病棟における身体合併症の管理体制を考える
～転院患者のデータ分析を通して～ 宮里病院 西病棟 看護師 安里功子
 4. 当院回復期リハビリテーション病棟における入院期限を超えて退院した患者の分析
沖縄リハビリテーションセンター病院 地域連携室 相談員 大城将平
 5. 「クライアントプラン」を活用しての現状と課題と提案
～早期よりチームで目標プランを共有するために～
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 作業療法士 和宇慶亮士

16:55 ～休憩 (10分)～

- 17:05 セッション8 座長:沖縄リハビリテーションセンター病院
手術室・安全管理担当マネージャー 富名腰義盛 (看護師)
1. 当院外来リハビリにおける患者満足度調査
沖縄リハビリテーションセンター病院 メディカルホールひんぷん 理学療法士 島袋雄樹
 2. 疾患ごとの時期別入院件数の分析～効率的な on/off the job training のために～
沖縄リハビリテーションセンター病院 5階メディカルホールはいさい 作業療法士 土田真也
 3. 脳血管障害後に大腿骨近位部骨折を合併した症例の検討
～退院時の歩行自立度と在宅復帰率に着目して
沖縄リハビリテーションセンター病院 ゆいんちホール 理学療法士 當眞里絵
 4. 当院における抗精神病薬の使用実態
宮里病院 薬局 薬剤師 上原卓朗

第一回 TAPIC Academic Festival プログラム(1日目:守礼の間B)

- 14:20 セッション9 座長:ペアーレ沖縄・タピック 課長 渡口彦春(健康運動指導士)
- 腰痛に対する理学療法—姿勢制御を中心とした評価をもとに—
スポーク・クリニック 理学療法士 仲間栄二
 - 変形性膝関節症患者の歩行は大腿四頭筋が過活動している
～表面筋電計を用いた健常成人との比較評価～
沖縄リハビリテーションセンター病院 メディカルホールひんぶん 理学療法士 比嘉俊文
 - 当院における大腿骨頸部骨折患者におけるFIMの動向 ～FIM運動項目に着目して～
沖縄リハビリテーションセンター病院 7階メディカルホールていーだ 理学療法士 平良亜紀子
 - スポーク・クリニックにおける地域スポーツへのかかわり～普及活動を通しての障害予防～
スポーク・クリニック 理学療法士 宮城健次
 - 平成22年度名護市委託事業「りっかりっか健康教室」の取り組みについて
スポーク・フィットネスセンター 健康運動指導士 山本弥生
- 15:05 ～休憩(10分)～
- 15:15 セッション10 座長:沖縄リハビリテーションセンター病院 ホールマネージャー 和宇慶亮士(OT)
- 集団認知リハビリテーションプログラム「あるがまま」平成23年度の実績
沖縄リハビリテーションセンター病院 6階メディカルホールちゅらうみ 言語聴覚士 崎原盛旭
 - 長期入院患者の退院支援 ～退院を振り返りみえたもの～
宮里病院 東病棟 看護師 青木純
 - 沖縄市在宅介護支援センター調査報告～福祉サービスの利用を通して～
地域ケアセンター部門 在宅介護支援センター 社会福祉士 安座間智子
 - 回復期病棟における失語症者の自宅復帰とリハビリテーションについて
～在宅復帰を果たした2症例の比較を通して～
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 言語聴覚士 渡邊弘人
 - 家族共に二ードを踏まえた目標設定を行うことの大切さ
～作業選択意思決定支援ソフト(ADOC)を使用して～
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 作業療法士 石川正樹
- 16:00 ～休憩(10分)～
- 16:10 セッション11 座長:介護老人保健施設 亀の里 ケア部副主任 幸地良潤(看護師)
- 病院に於ける介護士の役割を検討～介護士の現状把握と育成への取り組み～
宮里病院 西病棟 介護福祉士 具志堅光
 - 自分らしさを取り戻す ～ちゅらふくプロジェクトの実施報告～
沖縄リハビリテーションセンター病院 4階メディカルホールゆいんち 介護福祉士 嘉陽田吉幸
 - 名護市スポーク通所リハビリテーションの特徴—リハビリに特化した介護サービスと支援—
スポーク通所リハビリテーション 介護福祉士 山城利沙
 - 利用者の在宅生活におけるヘルパーの役割～利用者の生活からみえてくるもの～
地域ケアセンター部門 あわせヘルパーステーション 介護福祉士 小田英法
 - ケア質評価表からみた情報共有について～統一したケアを目指して～
沖縄リハビリテーションセンター病院 7階メディカルホールていーだ 介護福祉士 渡口正貴
- 16:55 ～休憩(10分)～
- 17:05 セッション12 座長:沖縄リハビリテーションセンター病院
リハビリテーション担当マネージャー 貞松徹(PT)
- 余暇活動の充実と実現に向けて
地域ケアセンター部門 亀の里通所リハビリテーション 介護福祉士 仲宗根利知子
 - 外来リハビリテーションの展開
沖縄リハビリテーションセンター病院 メディカルホールひんぶん 作業療法士 渡邊健一
 - ホール担当制を導入してから見えてきたもの ～さらなるメディカルホールとの連携に向けて～
地域ケアセンター部門 訪問リハビリテーション 理学療法士 盛小根康
 - スポーク・クリニック3年間の受診状況から考える今後の展望
—地域のニーズとクリニックとしての役割— スポーク・クリニック 看護師 嘉陽淳子
 - 往復型入所から亀の里の役割を考える ～在宅での生活を支える～
介護老人保健施設 亀の里 ケア部 介護福祉士 屋良隆治

第一回 TAPIC Academic Festival プログラム(2日目：万座の間)

9：30 市民公開講演会

テーマ：新しい時代のまちづくりと医療・保健・福祉・文化の役割

《総合司会》

沖縄リハビリテーションセンター病院 管理局長 玉栄亨
ユインチホテル南城 部長 新川悟

・ 9：30 ～ 9：50 (20分)

「基調講演 1」 タピックにおけるスポーツカルチャーセンター機能の紹介と今後の役割

ペアーレ沖縄・タピック 部長 米須清昌

・ 9：50 ～ 10：10 (20分)

「基調講演 2」 名護市スポーツリハビリテーションセンター・スポークの歩み

名護市スポーク・クリニック院長 大嶺啓

・ 10：10 ～ 10：40 (30分)

「基調講演 3」 TAPIC の認知症への総合的取り組みの紹介と今後の予防を中心とした戦略

宮里病院院長 古謝淳

・ 10：40 ～ 10：50 休憩(10分)

・ 10：50 ～ 11：20 (30分)

「基調講演 4」 沖縄県中部におけるリハビリテーション医療の展開と今後の方向

沖縄リハビリテーションセンター病院院長 濱崎直人

・ 11：20 ～ 11：50 (30分)

「基調講演 5」 観光と文化と医療の融合——ユインチホテルにおける観光イノベーションの夢

ユインチホテル南城 総支配人 島袋悦雄

・ 11：50 ～ 12：20 (30分)

「基調講演 6」 タピックにおける 21 世紀エネルギー戦略と夢
オランダにおける自然エネルギー活用システム

ユインチ鉱山所長 大見謝恒慈路
ユインチホテル管理部長 石原信義

・ 12：20 ～ 13：00 昼 食

・ 13：00 ～ 14：00

「記念講演」 私のまちづくりの夢——村の一職員からの軌跡と南城市 GANJU CITY 構想

南城市市長 古謝景春

・ 14：00 ～ 14：05 休憩(5分)

・ 14：05 ～ 14：50

「総括講演」 超高齢社会・世界大交流時代における TAPIC の使命

タピック代表 宮里好一

・ 14：50 ～ 質疑

15：00 閉会式

閉会挨拶：ユインチホテル南城 総支配人 島袋悦雄